

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第46期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社菱友システムズ
【英訳名】	Ryoyu Systems Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 八坂 直樹
【本店の所在の場所】	東京都港区高輪二丁目19番13号
【電話番号】	03(5421)5811(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経営管理統括本部企画経理部長 山本 陽茂
【最寄りの連絡場所】	東京都港区高輪二丁目19番13号
【電話番号】	03(5421)5811(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経営管理統括本部企画経理部長 山本 陽茂
【縦覧に供する場所】	株式会社菱友システムズ 事業統括本部中部支社 （愛知県名古屋市千種区内山三丁目7番3号） 株式会社菱友システムズ 事業統括本部西日本支社 （兵庫県尼崎市潮江一丁目3番30号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第1四半期連結 累計期間	第46期 第1四半期連結 累計期間	第45期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	7,066	6,195	29,083
経常利益又は経常損失( ) (百万円)	110	205	801
四半期純損失( )又は当期純利益 (百万円)	75	122	387
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	77	120	453
純資産額(百万円)	5,335	5,654	5,865
総資産額(百万円)	12,292	12,810	13,999
1株当たり四半期純損失金額( )又は 1株当たり当期純利益金額(円)	11.95	19.25	61.01
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	39.2	39.8	37.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等(消費税及び地方消費税をいう、以下同じ)は含まれておりません。

3. 第45期第1四半期連結累計期間及び第46期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第45期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社3社、以下同じ)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間のわが国の経済は、政府による経済政策や日本銀行の金融緩和を背景に円安・株高で推移し、景況感は改善しつつあります。一方、先行きについても、一部業種における円安による原材料価格の上昇や欧州の金融不安及び中国における景気減速といった下振れリスクはあるものの、米国経済が回復傾向であることに加え、わが国の政治面での安定を背景に継続した成長が期待されております。

当情報サービス産業界においては、顧客のIT投資が上向きつつあり、需要は微増で推移しました。

当社グループは、このような事業環境のなか、システム機器販売事業において主要顧客等からの受注が減少したため売上高は前年同期より減少し61億95百万円（前年同期比12.3%減）となり、損益も売上減に伴い悪化し、営業損失2億6百万円、経常損失2億5百万円、四半期純損失1億22百万円となりました。（前年同期は、売上高70億66百万円、営業損失1億13百万円、経常損失1億10百万円、四半期純損失75百万円。）

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 〔情報処理サービス事業〕

当事業は主要顧客等における作業減等があり、売上高は17億54百万円（前年同期比1.2%減）、営業損失は17百万円（前年同期営業損失は15百万円）となりました。

#### 〔システム開発事業〕

当事業はシステム開発案件の第2四半期以降へのずれ込みがあり、売上高は24億73百万円（前年同期比3.7%減）となり、加えて一部業務において開発費用が増加したため損益も悪化し、営業損失は1億11百万円（前年同期営業損失は41百万円）となりました。

#### 〔システム機器販売事業〕

当事業は主要顧客等からの受注が減少し、売上高は20億75百万円（前年同期比25.3%減）、営業損失は78百万円（前年同期営業損失は56百万円）となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、11百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,840,000
計	23,840,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,355,000	6,355,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	6,355,000	6,355,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年4月1日 ~ 平成25年6月30日	-	6,355,000	-	685	-	250

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,344,000	6,344	-
単元未満株式	普通株式 5,000	-	-
発行済株式総数	6,355,000	-	-
総株主の議決権	-	6,344	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社菱友システムズ	東京都港区高輪二丁目19番13号	6,000	-	6,000	0.09
計	-	6,000	-	6,000	0.09

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	725	780
受取手形及び売掛金	6,404	4,164
商品	208	265
仕掛品	297	747
預け金	2,038	2,317
その他	855	1,004
貸倒引当金	7	2
流動資産合計	10,522	9,277
固定資産		
有形固定資産	1,391	1,404
無形固定資産	172	182
投資その他の資産		
その他	1,918	1,951
貸倒引当金	6	6
投資その他の資産合計	1,912	1,945
固定資産合計	3,476	3,533
資産合計	13,999	12,810
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,436	1,092
未払法人税等	255	9
工事損失引当金	6	0
未払費用	2,250	1,537
その他	591	833
流動負債合計	4,540	3,473
固定負債		
退職給付引当金	3,461	3,520
役員退職慰労引当金	86	74
その他	45	88
固定負債合計	3,593	3,682
負債合計	8,133	7,155
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	685	685
資本剰余金	250	250
利益剰余金	4,778	4,576
自己株式	3	4
株主資本合計	5,710	5,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	18
土地再評価差額金	426	426
その他の包括利益累計額合計	411	408
少数株主持分	566	553
純資産合計	5,865	5,654
負債純資産合計	13,999	12,810

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,066	6,195
売上原価	6,245	5,454
売上総利益	820	741
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	462	468
その他	471	479
販売費及び一般管理費合計	933	947
営業損失( )	113	206
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1	0
その他	0	0
営業外収益合計	3	1
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産除却損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常損失( )	110	205
税金等調整前四半期純損失( )	110	205
法人税等	37	81
少数株主損益調整前四半期純損失( )	73	123
少数株主利益又は少数株主損失( )	2	1
四半期純損失( )	75	122



【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	73	123
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	4	2
その他の包括利益合計	4	2
四半期包括利益	77	120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80	119
少数株主に係る四半期包括利益	2	1

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が当第1四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	1百万円	19百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	60百万円	53百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月27日 取締役会	普通株式	79	12.50	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月26日 取締役会	普通株式	79	12.50	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	情報処理サービス事業	システム開発事業	システム機器販売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	1,758	2,568	2,739	7,066	-	7,066
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	17	-	39	57	57	-
計	1,775	2,568	2,779	7,123	57	7,066
セグメント損失( )	15	41	56	113	-	113

(注)1.セグメント間取引消去によるものです。

2.セグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	情報処理サービス事業	システム開発事業	システム機器販売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	1,691	2,473	2,031	6,195	-	6,195
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	63	-	44	107	107	-
計	1,754	2,473	2,075	6,303	107	6,195
セグメント損失( )	17	111	78	206	-	206

(注)1.セグメント間取引消去によるものです。

2.セグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	11円95銭	19円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失( )(百万円)	75	122
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失( )(百万円)	75	122
普通株式の期中平均株式数(株)	6,348,714	6,348,647

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

当社は、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間終了後当四半期報告書提出日までの間に、配当についての取締役会決議を行っております。その内容については、「1 四半期連結財務諸表 注記事項(株主資本等関係)」に記載しております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

株式会社菱友システムズ  
取締役社長 八坂 直樹 殿

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	賀谷 浩志 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	奥田 穰司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社菱友システムズの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社菱友システムズ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。